

平成26年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 研修室					
開催日時	平成27年5月23日午後13時30分					
会員総数	21名					
出席会員数	14名	内訳	本人出席	5名	委任状提出	9名

1. 開会挨拶

スミス理事長により開会の挨拶があった。

1. 議長選出

会員谷尾洋介氏が議長に選出され、定款の規定により総会定数を満たしたので会が成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

平成26年度事業報告

1. グリーンスポーツ鳥取の運営、行政関係

スミス理事長より以下の報告があった。

- ① グリーンフィールドの芝生維持管理は今までと変わりなく行なっている。芝生の公園、また底辺の地域密着型のスポーツ広場として役割を果たした。
- ② 地域の行事として、例年どおり納涼祭、小学校の遠足、また湖山西体育委員会の駅伝も行われた。
- ③ 県全般及び市の公園と保育園関係部署との関係が概ね良好で、鳥取市は市長・教育長が代わったが、未だ進展はないが根気強く交渉していく。

2. グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

- ① グリーンフィールド横の第2グラウンド・第3グラウンドも安定してきているが水溜まりが出来る所には今年予定している保育園の補修作業の残土を渡辺造園へ入れてもらう。

芝生化事業

- ② 鳥取県内及び全国各地の保育園・幼稚園・小学校・公園・運動広場・空き地の芝生化事業に対して、夫々の芝生化計画について最適の芝生の種類、散水設備、年間維持管理マニュアルを提案・指導助言を行なうと共に、サポートネットを通じて芝生化に関する問合せに対して、それぞれ回答をした。
- ③ 鳥取県文化観光スポーツ局では「平成26年度鳥取方式の芝生化推進事業」として東部は保育園2ヶ所、中部は保育園1ヶ所、西部は保育園2ヶ所・小学校1ヶ所、計6ヶ所の芝生化支援事業及び芝生維持管理・技術指導を行なった。小学校については、計画の段階から現地訪問をして説明をし、実施するまでに3年がかりになってしまっている段階です。
- ④ 鳥取県教育委員会の県立学校においては、2校芝生化した。
- ⑤ 鳥取市都市整備部都市計画課「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」では21年から継続して芝生化をしており、26年度は美保スポーツ広場を含め3,980㎡芝生化された。

- ⑥ 日本サッカー協会「JFA グリーンプロジェクト」として、全国 34 箇所の保育園・幼稚園・小学校やグラウンドにポット苗（合計 166,124 ㎡）が寄贈された。全国各地の芝生化事業の状況としては、愛知県西尾市では保育園 4 園、愛知県美浜町で 1 園、愛知県阿久比町 1 園、滋賀県近江八幡市（保育園・小学校）、滋賀県東近江八幡市（保育園・小学校）など行った。
- ⑦ その他事業への支援活動として、NHK の取材で始まった津波で失った宮城県岩沼市復興住宅地（玉浦西公園 400 ㎡）の芝生化ポット苗移植を 8 月 31 日に行った。また 27 年度 2 ヶ所の公園の芝生化が見込まれている。
- ⑧ 芝生の維持管理の指導として、鳥取県立学校維持管理指導助言（高等学校 8 校・養護学校 5 校、）を行なった。また GST と技術契約を結んでいる行政等へ 27 年度維持管理計画書を作り提案した。県外では愛知県西尾市・阿久比町・美浜町、滋賀県内の学校・運動公園・保育園等芝生化指導助言を行った。
- ⑨ 全国芝生化サポートネットワークでは全国各地の保育園・小学校・大学・クラブチーム・個人など芝生化計画に対してアドバイスし、鳥取方式が適用できる場合にはそれぞれの状況に応じて、ポット苗、ロール芝による芝生化を支援した。

3. E A S Eフットボールクラブ （総勢 133 名）

田中理事欠席の為ニール理事長より下記の報告があった。

- ① 現在ジュニアは大会にも活発に参加し安定した成績を残している。小学生の人数が多数増え、コーチの不足、大会数に伴い苦渋の選択であったがクルセルは廃部となった。社会人はフットサルを 2 チームで活動している。フットサルは大会には参加していない。

4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

福田理事欠席のため前田さんより以下の報告があった。

- ① 練習は毎週 2 回おこなっている。26 年度は試合 4 試合行なったが、なかなか勝てない試合が続いているが試合中には良い形でプレーできている。ジュニアのメンバー確保が難しいので、練習時間を大人と一緒にいった。大人と一緒に練習する事によって上達がみられた。

② 5. エレンシア湖山ホッケークラブ

矢信さんより以下の報告があった。

- ① メンバー大人 10 名、子供 1 名で活動している。毎週土曜日 15 時～17 時で練習を行なった。9 月-「鳥取 6 人制ホッケー大会」、10 月-「鳥取県わくわくホッケーフェスティバル」、12 月-「篠原カップ」予選敗退と結果は出せなかったが、大会を楽しむ事を目的としているのでこれからも楽しみたい。その他倉吉東高校の OB と交流を深めた。緑の感謝祭 小学生を体操にホッケー体験を行った。

5. 自治会との連携

山根副会長より以下の報告があった。

自治会としてはグリーンフィールドの維持管理及び GST の運営に対して深く理解しており、これからも支援・サポートしていく。

壮年団との連携

例年どおり 6 月 15 日にグリーンフィールド側溝掃除、7 月 26 日に納涼祭を行った。

6. 鳥取方式の芝生化 全国サポートネットワーク

全国サポートネットワークを発足してから 5 年が経ちます。ホームページの改善を図っている。会の組織のあり方においても議論している。3 月 21 日は市民スポーツ広場のグランドゴルフ場 2 面の芝生化、ポット苗移植を手伝った。

7. 決算報告

事務局太田より、平成26年度の決算報告があった。

2年続いて赤字決算だったが、26年度は黒字決算だったと報告があった。

8. 会計監査報告

法人監査である井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適切かつ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

9. 質疑応答・承認

質問及び異議もなく、26年度の事業報告ならびに決算報告及び監査報告が、満場一致により承認された。

平成27年度事業計画案

1. 芝生化支援事業の見通し等

- ① 今年度も例年どおりグリーンフィールドで実施している「鳥取方式による芝生化」をモデルに鳥取県、鳥取市、日本サッカー協会、西尾市、岩沼市、サポートネットワークの会員の相談等、広い範囲を対象に保育園・学校・空き地での芝生の支援活動をさらに活発にして行く。
- ② 都市整備部「裸足で遊べる公園づくり」として27年度は9箇所行う予定。
- ③ 鳥取県文化観光スポーツ局の鳥取方式の芝生化促進事業（保育所・幼稚園の園庭芝生化事業）について要望のある保育園・幼稚園・小学校の芝生化を行う予定。今年度、鳥取県内では保育園を6園行なう予定。
- ④ 平成26年度に千代川河川敷の両サイドを防災用に低くして80,000㎡整地が行われた。自然型芝生化（生えてくる草を刈るだけ）を行った。26年度は予算を頂けなかったが、今年も管理しながら鳥取県と市に対して予算交渉を続けていく。
- ⑤ 日本サッカー協会が実施する「JFA グリーンプロジェクト」、また芝生化人材育成の為の「施設フォーラム」が平成26年度から開始し、講師としてスミス理事長・中野理事・池田省二氏が参加した。今年も協力していく。
- ⑥ 宮城県気仙沼市で今年度は公園を2ヶ所芝生化の相談があり決まりそうだ。

2. グリーンフィールドの整備・第2・第3グラウンドの整備

昨年第2グラウンドの手前半分にティフトンを植えた。植えた所は芝生が広がっているため、サッカー1面は使える。第3グラウンドはお金も手もないので、徐々に自然の草で芝生化を目指している。現在芝刈りのみ行っているが、水溜りのある数ヶ所を手入れする予定。

3. EASEフットボールクラブ

サッカーにおいては、県内外のチームと交流試合、県外遠征等、積極的に活動する。多くの県内外のチームと交流し試合を行う。また、小学生の女子チームが発足した。

4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

練習は週2回、試合数を増やしたい。ジュニアの練習は週1回、人数を増やしタグラグビー大会等に参加するのを目標としている。

5. エレンシア湖山ホッケークラブ

練習時間は昨年と同じ。試合を目標とした練習ではなく、普段の練習を楽しむ事を重視したい。ホッケー経験者であっても、鳥取でやる場所は限られているため、そういう人を広く受け入れていきたいと考

えている。試合前など、試験的に八頭高校で人工芝での練習を行っている。

6. 自治会との連携

第3グラウンドでグラウンドゴルフをしている人達から、風が強いと湖山池の水が上がってきて、緩くなってなかなか乾かないし水はけも悪い。側溝が詰まっているので水はけが悪いと考えられる。また周囲の草が伸びたまま刈ってない。

壮年団との連携

壮年団では毎年行っているグリーンフィールドの側溝掃除をスポーツクラブ会員・地元住民にも呼びかけ6月14日に行う予定だったが、湖山西自治会で6月27日に湖山池北岸の清掃の予定。また、7月25日に恒例の納涼祭を行う。

7. その他

鳥取方式の芝生化全国サポートネットワークでは、10月10日は今年度の総会を開きます。また10月11日芝生化アカデミーを開催します。芝生化アカデミーは県外に大きな影響を与え全国的に鳥取方式による芝生化が進んでいる。

8. 26年度の予算案

決算同様に平成27年度の予算案が非営利活動・収益事業別に提出された。

9. 質疑応答・承認

質問及び異議もなく、その他予算・事業案に対する質問がなかった為、26年度予算案が、満場一致により承認された。

10. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致で、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後2時50分に閉会を宣した。

1. 議長解任

決議事項等が終了した為、議長が解任された。

1. 閉会の挨拶

スミス理事長より、GSTは目立たない組織ではあるが反対に小さな組織にも対応していく。行政は知識が足りないから業者の言いなりになってしまうが、鳥取県教育委員会では、設計の段階からGSTが対応する事によってコストダウンにつながっている。施設の利用の仕方によって維持管理も違ってくる。入札で選ばれた業者はGSTの指示に従って作業をすることになっており、GSTの指示に従わない業者は入札から外されることになる。GSTは年3回現地調査を行い行政・学校・業者に適切なアドバイスを提出している。また、芝生化学会でGSTと鳥取県教育委員会との内容で発表することになっている。

との挨拶で、総会を閉会した。

平成27年5月23日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議長

谷尾 洋介



会員

二ノ又三久



会員

中野 淳一

